

史料群番号 97

史料群名	いりき 入来家文書	旧所蔵者	(入来氏)
探訪時住所	(鹿児島県日置郡串木野村)		
現在の住所	鹿児島いちき串木野市		
探訪年月	不明		
史料の年代	天正16 (1588) 年～昭和10 (1935) 年	史料の 総点数	651点
年代の内訳	近世 171点/近代 432点/不明 48点	筆写稿本	なし
既刊行目録	なし		

収蔵にいたる経緯

探訪に関する記録はなく、詳細は不明である。

史料群の概要

探訪地の日置郡串木野村は、明治22年に5ヶ村が合併して成立した。入来氏の家はその中の一つ、上名村（かみみょうむら）にあった。上名村は、近世以来の村落名である。串木野村は昭和10年に串木野町となり、昭和25年に串木野市、平成17年にいちき串木野市となった。

薩摩藩は外城制（とじょうせい）という独自の行政制度を持っていた。入来郷は薩摩藩113外城の一つで、477人の郷士（ごうし）がいた。郷士は、村方に住んで、所持地の一部を知行地として支配し、家臣団の身分制のなかに位置づけられたものを言う。入来氏は郷士の家であった。

史料は、郷士入来氏の近世以来の土地知行に関する、「田畠取納帳」「米粟収納帳」などの横帳が多くを占める。近代以降の養蚕関係の史料、書籍類も含まれている。

